

外観



ガレージをモチーフにしたデザインを採用。屋根の形状は、車が作り出す流線型の風のフォルムを表現している。

休憩施設／入口



トイレの前には、風除室としてガラス張りのロビーを設置。

大便器ブース



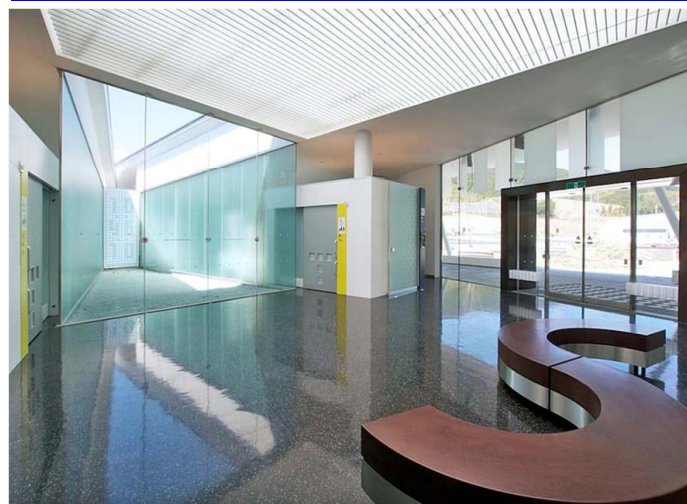
通常期エリアのすべての大便器ブースには、小さなお子様連れに配慮してベビーチェア・補助便座を設置。サインは5ヶ国語で表記している。

大便器ブース



使用中の姿勢保持や立ち座りの動作をサポートするため、縦手すり・横手すりを取り付けている。

休憩施設／ロビー



男女トイレの間に中庭を設置。中庭に面したロビーにはS字のソファを配し、ラウンジのような居心地のよい空間となっている。

トイレ入口



フロストガラスの間仕切りや壁に、ピクトサインを表示している。

大便器ブース



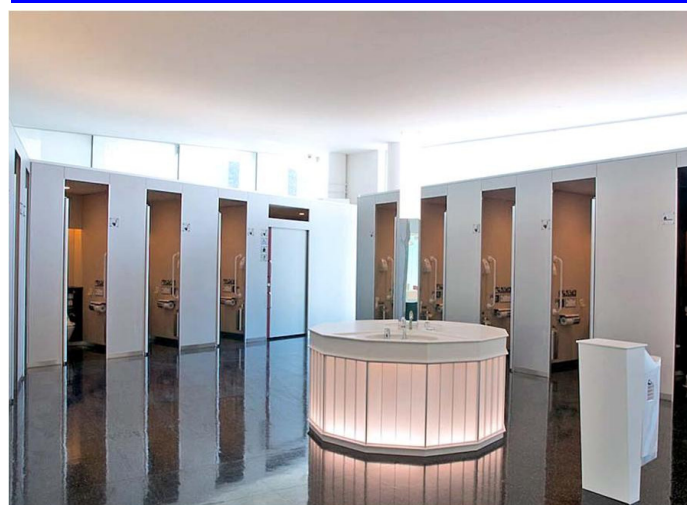
海外からのお客様にもわかりやすいように、イラストを使ったオリジナルのサインで使用方法を示している。

オストメイト対応ブース



一般トイレにもオストメイト対応の大便器ブースを完備。

女性トイレ 大便器コーナー



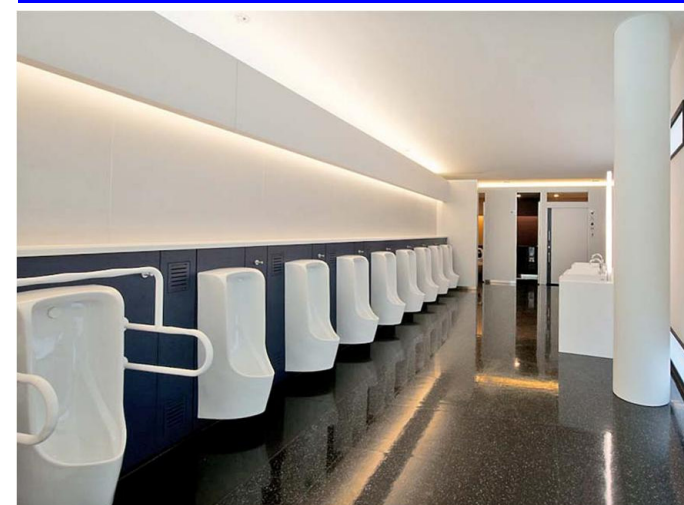
入口の洗面コーナーとは別に、大便器コーナーにもアイランド型の洗面カウンターを設置している。

女性トイレ 大便器コーナー



洗面カウンター下には照明を組み込んでいる。洗面器の足元は、車いすでアプローチしやすい形状。

小便器コーナー



清掃性への配慮と消臭対策として、壁掛式の脱臭機能付き小便器を採用。間接照明と中庭からの自然光が柔らかな空間を演出。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面器は、550mm・750mm・850mmと高さを変えて設置(あふれ面高さ)。身長にあわせて使いやすい高さを選ぶことができる。

女性トイレ 洗面コーナー



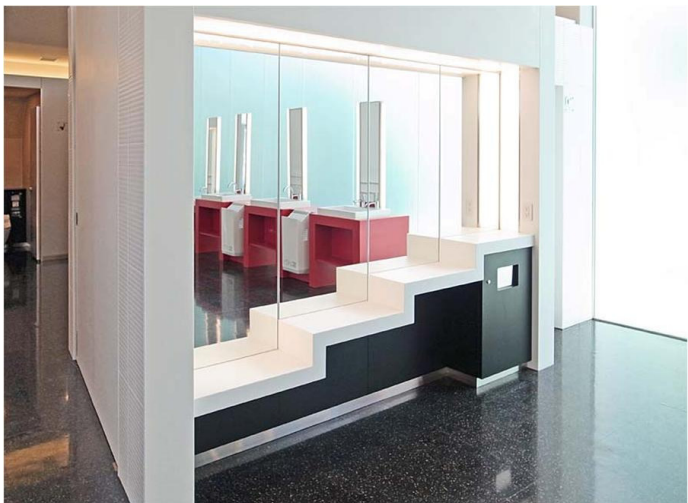
シンプルな形状のハイクオリティ洗面器を採用。ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓とオートソープディスペンサーを設置。赤いカウンターに洗面器の白が映える。

男性トイレ 洗面コーナー



顔映りがよくなるように、両サイドに照明が付いた鏡を採用。洗面器の1ヶ所は、お子様の使いやすさを考慮して低めに設置している（あふれ面高さ：550mm・750mm）。

パウダーコーナー



使用者が使いやすい高さを選べるように、カウンターは450mm・600mm・750mm・900mmの4タイプを用意している。

女性トイレ 更衣室



パウダーコーナーに隣接した場所に更衣室を設置。着替えやストッキングの履き替えができる。

多機能トイレ ②



ベビーチェア・補助便座・折りたたみシートなどを備えたファミリー対応の多機能トイレ。

多機能トイレ ②



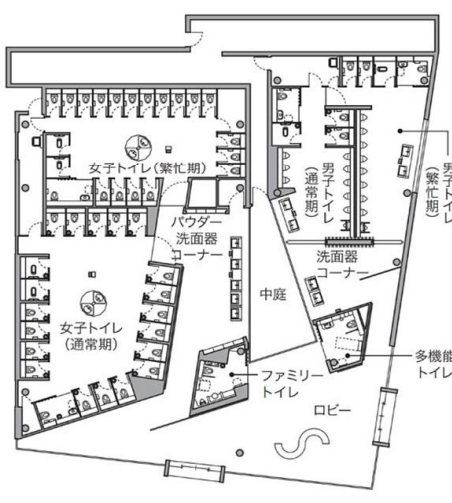
ファミリー対応の多機能トイレには、ほかにも幼児用小便器・手洗器・ベンチ・フィッティングボードなどを用意している。

トイレ入口



トイレを通常期エリアと繁忙期エリアに分けている。繁忙期は両エリアの扉を開放して運用する。大便器ブースの空き状況が確認できるディスプレイは、扉の開閉と連動して表示が変わる。

トイレ図面



多機能トイレ 入口



混雑を緩和するため、2タイプの多機能トイレを設置。車いす使用者対応の多機能トイレ(右)と、小さなお子様連れなどファミリーにも対応可能な多機能トイレ(左)。

多機能トイレ ①



折りたたみシートを完備した車いす使用者対応の多機能トイレ。

建築概要

名 称	新東名高速道路 清水パーキングエリア
所 在 地	静岡県清水市清水区小河内
施 主	中日本高速道路株式会社
設 計	中日本高速道路株式会社、株式会社浦野設計、 有限会社設計事務所 Gondra、 株式会社高橋建築都市デザイン事務所、 東洋大学ライフデザイン部
施 工	田中建設株式会社
竣 工 年 月	2012年3月

水まわりの特長

＜建物の概要＞
2012年4月に開通した「新東名高速道路」の清水パーキングエリアは、上下線が集約された構造で、行き先に関わりなく上下線どちらからも利用することができる。「くるまライフ・コミュニティパーク」というコンセプトに基づき、建物の外観はガレージをモチーフにしたデザインを採用。車やバイクを楽しむ人々の憩いの場となるように、「単なる通過点以上の付加価値」の提供を目指している。

＜水まわりの特長＞
男女トイレの間に中庭を設置し、トイレ内に自然光が射し込む明るいトイレ空間となっている。特に中庭に面した洗面コーナーの壁には全面フロストガラスを採用し、壁越しに自然光が射し込む。中庭に面したロビーにはソファが置かれラウンジのような居心地の良い空間となっている。

車いす使用者、オストメイト、小さなお子様連れのお客様の混雑を緩和するため、多機能トイレを複数設置し、一般トイレにもオストメイト対応ブースを完備。さらに洗面コーナーとパウダーコーナーでは、さまざまな方の使い勝手を考えて、カウンターの高さを変えて設置するなど、細やかな配慮がされている。